



何故、社会とつながる学びが必要なのか

認定NPO法人こまちぷらす
理事長 森祐美子

本日のポイント

- 学校の外（こどもたちが生きていく社会）における協働の事例から考える
- 自分にとっての「学校と地域の連携」について考えを深める
- 連携の中で難しい局面、どう整理するか

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

自己紹介



2004年トヨタ自動車株式会社にて海外営業や海外調査を担当。第一子出産直後に感じた育児における孤独感やその後救われた経験から、2012年に退社しこまちぷらすを当時のママ友数人と立ち上げる。

委員関係

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| 2013年9月～2016年10月 | 横浜市子ども・子育て会議委員 |
| 2014年7月～2015年3月 | 横浜市地域子育て支援拠点における利用者支援事業のあり方検討会委員 |
| 2016年11月～2021年4月 | 戸塚宿ほのぼの商和会副会長 |
| 2017年11月～2018年3月 | 「横浜教育ビジョン2030」に関する懇談会委員 |
| 2018年7月～現在 | 横浜市教育委員会委員 |
| 2019年4月～2021年3月 | 横浜市市民協働推進委員 |
| 2024年4月～現在 | 横浜地方裁判所委員会委員 |
| 2024年5月～現在 | 厚生労働省「重層的支援体制構築推進人材養成研修・広報啓発事業」WG委員 |

海外へ居場所づくりについて発信

- 2017年2月 **イスラエル**政府招へいプログラム「女性ヤング・リーダーシップ・プログラム」に
女性代表団の一員選出@イスラエル1週間訪問
- 2019年12月 フィッシュファミリー財団（ボストン）第3回チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞にて入賞
- 2022年10月 フィッシュファミリー財団ボストンJWLIボストンプログラムフェロー選出
@アメリカ ボストン1か月研修
- 2023年6月 **ザルツブルグ**グローバルセミナー フェローに選出 @オーストリアザルツブルグ1週間研修
- 2024年6月 **ザルツブルグ**グローバルセミナー 国際会議出席
- 2024年11月 北米2都市（ニューオリンズ・ワシントンDC）にて講演



アイスブレイク

皆さんの自己紹介

※ペア

1. 名前、学校名
2. 今日聞きたいと思っていること
3. 何故先生になったか

グラウンドルール

1人 分話しきるまで

- ・話をさえぎらない/かぶせない
- ・否定しない

<テニスの壁打ち>をイメージしてください

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

こまちぷらす：子育てをまちでプラスに

comachi
plus

スタッフ人数：約**50**人（2024年11月現在）

登録ボランティア数：約**340**人（こまちパートナー）



第7回健康寿命をのぼそう！アワード 厚生労働大臣 団体部門 優秀賞受賞
（2018年11月）

第13回かながわ子ども・子育て支援大賞「奨励賞」受賞（2019年11月）

第12回地域再生大賞 準大賞受賞（2022年1月）



こまちカフェ

comachi
plus



ボランティアの
方が赤ちゃんや
こどもを見守り。
お母さん、
お父さんたちが
ご飯をゆっくり
両手で味わって
食べることがで
きる。

親も子もいろん
な大人に出会う
ことが大事。

こよりどうカフェ

comachi
plus



安心した関係性の中でつぶやける言葉

H031

子どもにイライラしてしまうことが多くいつか傷つけてしまいそうで不安です。

H091

双子(三つ子)の世話に追われ、睡眠不足が続き、最初の3か月くらいは精神的におかしくなるし、思考が停止する。

N119

相談場所のプロは、解決策はいろいろ話してくれるけど、共感をしてもらえずしんどくなる。

N120

家の安全は、母親にかかっている。ボロボロな自分は、どこが安全なのか。。。

N121

学校に行けない息子を許せない夫。在宅ワークでイライラ癩癩を起す。今まで見えていなかった息子の様子を見て、でこぼこを受け入れられない。本人には「お前はダメ」私には「育て方が悪い。」「障害かよ。」とつぶやいたことも。

社会において孤立している状況が課題。どう関係性を再構築できるか。

社会とのつながりがもたらすもの

- 心の健康や幸せを保つ
- 新たな挑戦を支える
- 自己成長を促す

新たな自分として社会参加

こまちぷらすの価値

Reconnecting with society (社会とつながりなおす)

1. 今の自分を「受け入れて」もらえる
2. 多様な機会がある
3. 今の自分にもできることがあると「自信が持てる」
4. 自分の中にある潜在能力が「引き出される」
5. これまでの自分とは違う一歩を踏み出せる「力に気付く」
6. 自ら新たな挑戦に取り組む

ライフステージの変化

妊娠・出産・育児・介護などによる影響

影響：これまで持っていた社会とのつながりが薄くなる
理由：特定少数の人との関係に大半の時間を費やすから
解決の方向性：多様性に触れる機会と時間を増やす

影響：これまで持っていた自信や自己肯定感が下がる
理由：不甲斐なさ※を感じる機会が多いから
解決の方向性：エンパワーメントする

※思うようにならず残念で情けない気持ち

社会的孤立の解消

経営資源の獲得

社会的孤立の長期化

こまちぷらすの基盤

- 多様な社会属性との関係構築と協働
- 具体的活動のための場や事業の運営

出会う、「何か」共にする、頼り合う

▶そういう空間・関係性が必要

大事なポイント：

1. 今の自分をそのまま「受け入れて」もらえる
2. 自分が今できそうな参加の機会・場がある
3. 今の自分にもできることがあると「自信が持てる」
4. 自分の中にある潜在能力が「引き出される」
5. これまでの自分とは違う一步を踏み出せる「力に気付く」
6. 自ら新たな挑戦に取り組む

こよりどうカフェから⇒保育園にお惣菜を届ける事業も実施



記者発表資料

2023年6月
内閣官房
地域における孤独・孤立対策に関する
NPO 等の取組モデル調査に採択される

令和5年6月13日
内閣官房

地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査の採択について

NPO 等が主体となった日常生活における孤独・孤立の予防や早期対応につながる取組の普及を目指す「地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査」について、47 件の取組を採択しました。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/pdf/230613_npo.pdf

お惣菜と一緒に地域情報を届けることで、働きながら子育てしている世帯に地域との接点をつくる



coyorido café

惣菜のおまけについてくるニュースレター

2023
04
vol.3

おかげさまで、こよりどうカフェもオープンから4ヶ月が過ぎました！
この春から新しい生活が始まる方にも、そうでない方にも、引き続き日常のなかで「ちょっとひと休み」「ちょっとご褒美」していただける場になれたらと思っています。



少しずつ、平日のランチタイムに「見守りボランティア」さんがいらっしゃるようになりました！様々な世代の方と触れあう機会としても、お子様にもご家族にも楽しんでいただけたらと思っています。

そして、保育園さんと連携してのお惣菜のお届け事業も開始いたします！

様々な形で、「小さなヨリドコロ」になれるように、4月も活動してまいります♪

季節のおたより

新学年、新学期を迎える4月は、新しい出会いの季節。
24 節季では、すべてのものが清らかで生き生きと見えるこの時期を「清明」と呼びます。木々の若葉が芽吹き、日差しが明るく、何か新しいことを始めたくなりますね。
食卓には「新じゃが」「新ごぼう」「新たまねぎ」など、「新」の文字がつく野菜が並びます。いずれも、栽培期間が短くてみずみずしく、香りが高いのが特徴。ぜひ、こよりどうの野菜たっぷりのお惣菜で、春の香りを感じてみてください。

今月の
おすすめ
お惣菜

“大豆ミートネギレモンダレ”

「これ、お肉!？」と思うような食べ応え、食感にびっくりされるかと思えます。
タレは白ネギとごま油のパンチある風味の中に、ほのかにレモンの風味もあり、とても食べやすく、ごはんがもりもり進みます！



春の新しい



舞岡
かるがも橋と
こいのぼり



舞岡小学校に沿った舞岡川沿いの歩道、ブロンズ像のカルガモさんのいる「かるがも橋」のそばに傾斜のなだらかな土手と階段があります。こちらを降りると、木製の通路とちいさなスペースがあり、キラキラした水面と川の流れを間近に見られるスポットがあります。ちょうどクヌギの木の本陰になっているので、今の季節はぶらんとたれさがった薄黄色の花が見られます。そしてこれからは5月のこどもの日に向けて、たくさんのこいのぼりが風にそよいでいる風景も見られますよ。川沿いのちいさなスポットで、水と緑と風のセンスオブワンダーをおやかに楽しんでみませんか？

※川は浅瀬で水の流れも急ではありませんが、ちいさなお子さまからは目を離さないようにしてくださいね。

【野の花えほん 春と夏の花】 出版社：あすなろ書房/作：前田まゆみ



モクレン、サクラ、ハナミズキ…春の木々にたくさんの花が咲きはこぼり、視線は上へと向きがちですが、足元の世界でも植物たちの活発な活動が始まっています。花を咲かせるものもいれば、旺盛に伸び始めるものもいたり。そんな春のお散歩にぴったりなのがこの絵本。繊細で柔らかなタッチで描かれているイラストは眺めているだけでも親子の会話がはずみます。お外での観察だけではなく、食卓でも (!) 季節を楽しむヒントが満載のおすすめの一冊です。

お問い合わせ・ご予約

まちの小さなヨリドコロ

coyorido café

ランチ・カフェ・お惣菜



WEB 予約 公式 LINE

@coyorido_cafe

@coyorido_cafe

@coyoridocafe

TEL 045-827-3334
https://coyoridocafe.com

営業時間

月～土: 10:00 - 17:00 (定休日: 日曜・祝日・第二月曜日)

ランチタイム 11:00 - 14:00

カフェタイム 10:00 - 11:00 / 14:00 - 17:00

Access

〒244-0002 神奈川県横浜市戸塚区矢部町 125 善寺印

◆JR/横浜市営地下鉄「戸塚駅(東口)」下車 徒歩 5分

◆駐車場あり (2台) ※近隣にもコインパーキングがあります



こよりどうのお惣菜

- カフェでのテイクアウト
- 保育園へのお届け

和食の基本、「まごわやさしい」を補うお惣菜やおにぎりを中心に野菜たっぷりで作っています。

それぞれのお惣菜に何が入っているかな？
不足しがちな食材は何か？
選んでいただくことで、「まごわやさしい」に近づけます。

○お惣菜各種 300円
○おにぎり 150円

*店頭でのお取り置きも受付しております。お電話ください。

*お届けを希望される保育園様も是非お気軽にご相談ください。



■ご予約・ご注文はこちらから

045-827-3334 (10:00~17:00 土日祝日休)

横浜市戸塚区矢部町 125

*お弁当は季節の野菜の野菜を中心としたお弁当
(内容は季節により異なります)

*戸塚駅10分圏内であればお届けいたします。受け渡しは 11:30~

-大口注文 (100個以上) は
オンラインショップから
(1日前までに予約申し込みください)



ウェルカムベビープロジェクト

まちからの出産祝い



comachi
plus

ホテル

家事代行サービス

商店会有志からの
絵本

液体ミルク

離乳食スプーン

タクシー会社からの
チケット

保険会社×地域作家
手づくりスタイ等



まちの中で我が事として、子育てに関わる人口を増やす

参加のプラットフォームをつくる



comachi
plus



小学生、中学生、
高校生、大学生、
妊娠中の方、
出産祝いを受け取った方、
90歳代の方、
様々な年代の方が街中で
年間約900人程参加し
出産祝いをつくる。

背守り縫ってくださっている方々の声

同じような趣味をもった方たちと話をするのが楽しい。

また、この背守りがどんな赤ちゃんの元へ届くか想像しながら背守りを縫うのが楽しい。

4年前に引っ越して高齢者住宅で暮らすようになったけど、知り合いがいなかった。

教え合ったりしながらそれぞれの生い立ちや昔話をしながら背守りをつくるのが楽しい。

自分の子育ても思い出したりして、背守りをつくることに今は生きがいを感じている。



おむつ自動販売機の展開



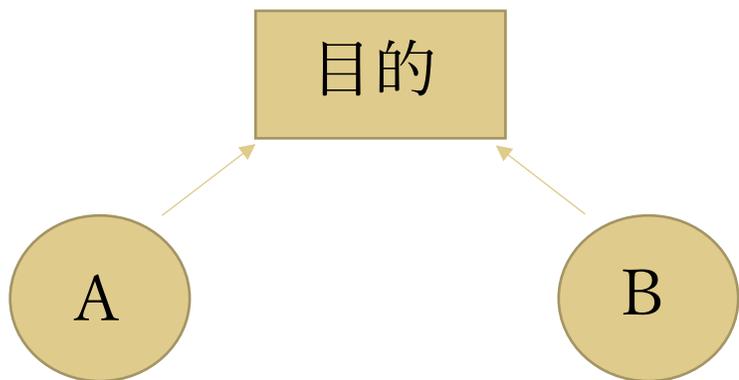
- ・産後家庭の外出支援としての自動販売機
- ・飲み物一本の購入からのプロジェクトを支援できる支援自動販売機
(支援自動販売機の場合、飲み物一本の購入の一部が、プロジェクトへ支援金として届けられます。)

戸塚区総合庁舎

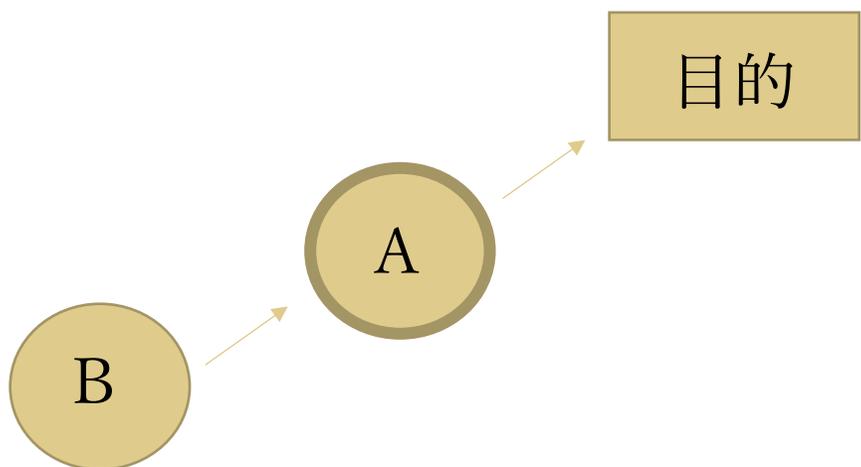
2024年4月時点でのおむつ自動販売機全国設置場所



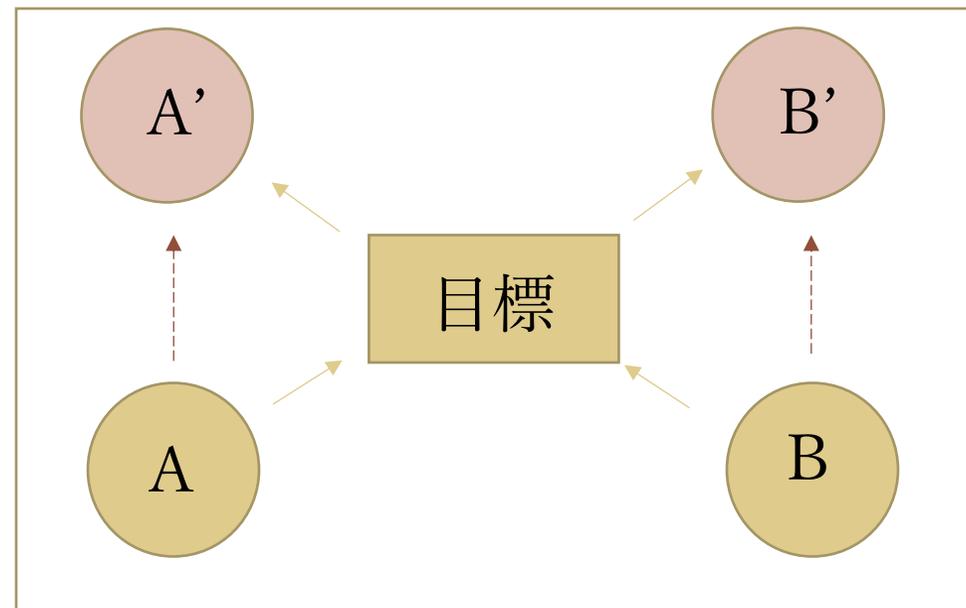
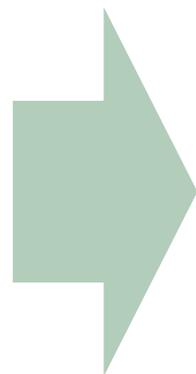
協働の考え方



ともに目的が同じで、同じように活動する



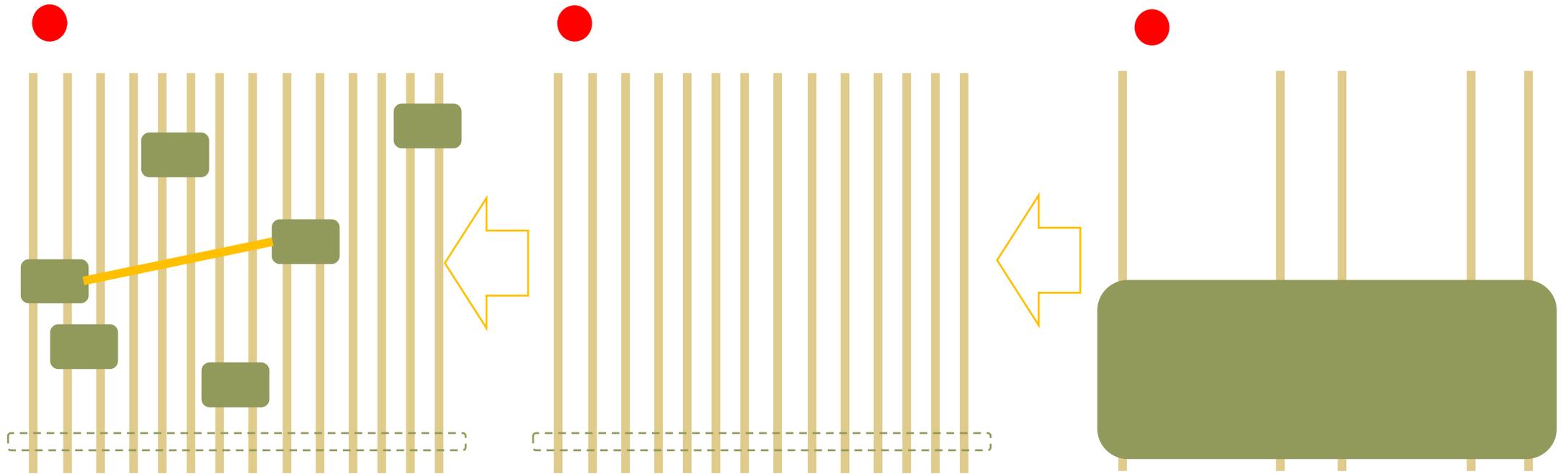
ともに目的が同じだが、主役AにBが協力する



目的は違うのだが、
同じ目標を達成することで、各目的を達成。

それぞれの「したいこと」が違う、という前提のもとに、
「共有の目標をつくる」

なんとかなる「クッション」が増えていく



本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ



池田さんによるお話し

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

- ・印象に残った言葉はどんな言葉でしたか？

- ・何故その言葉が印象に残ったか、ご自身の体験とつなげてお話しく下さい。

- ・ クラス・学年の子を思い浮かべてみてください。
学校外の人との出会い、協働によってどんな連携をしたら
その子が輝くか・活躍できるか考えてみてください。

問い

「地域との連携をしないと」から始まっていないか

「やらされ感」がないか

「自ら学び、社会とつながり、ともに未来をつくる人」
に、つながっている取り組みだろうか。

ポイント

- 何のために
- 児童生徒、教職員、地域の人が安心して楽しく関わられている、環境と関係性づくり（教職員自ら楽しんでいることが何より求心力に）
 - ▶ そのためには自分の中にある思いから出発
- 自分の存在/役割を誰かが喜んでくれている！そんな実感得られるような弱いつながりをこどもたちの周りに
 - ▶ 保護者、先生以外の「価値観」が世の中にあることを知る

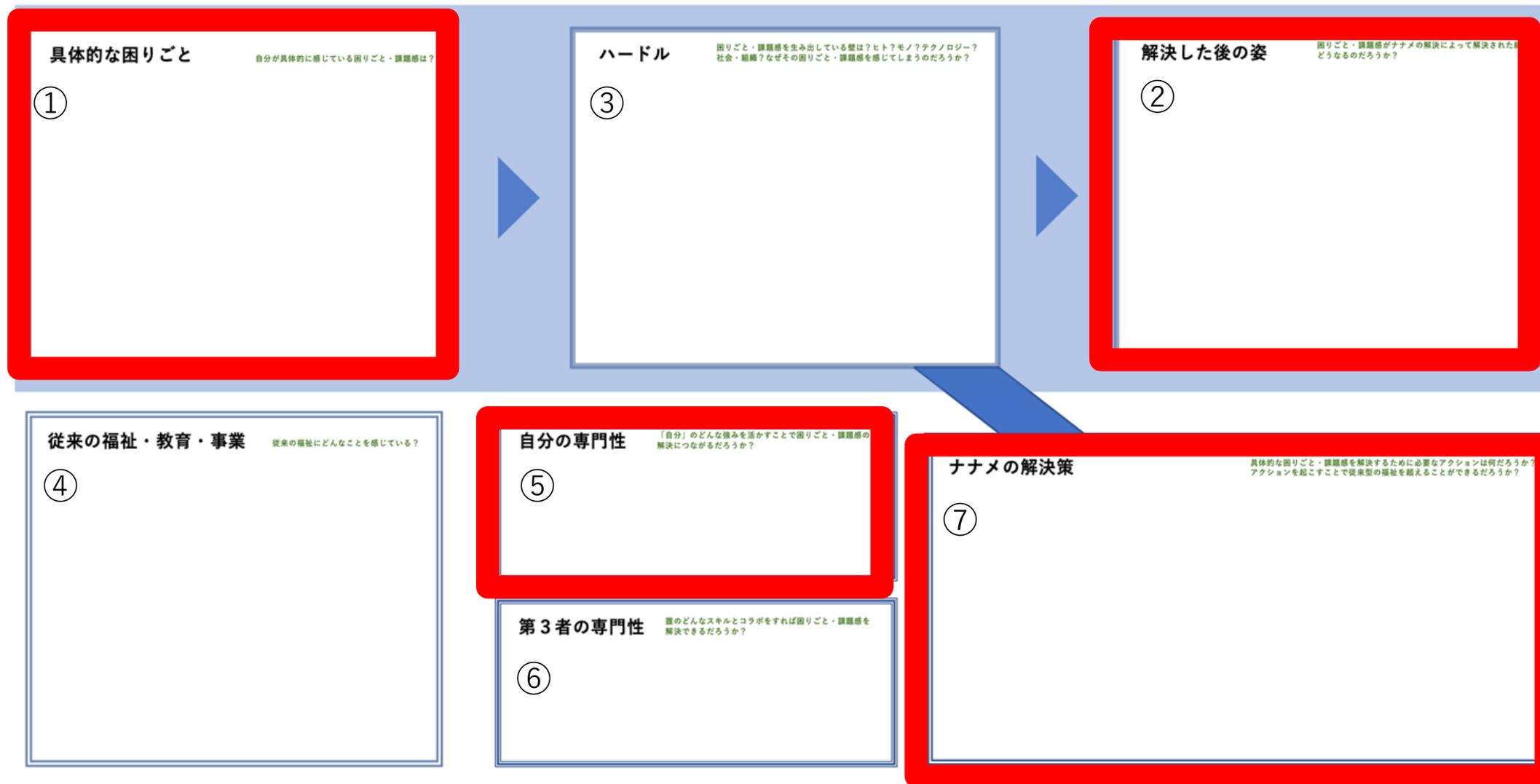
しかし・・・連携を始めると様々な困難も。

期待のすれ違い。

「自分たちがお願いをしたいこと」と「相手のできること」のマッチングで終わってしまい、徐々にミスマッチが生まれたり、気持ち消耗。

お願いした手前、「NO」という難しさ。

活用できるツール例



現状・課題

①

現状を具体的に。
どんなことが課題？

ハードル

困りごと・課題感を生み出している壁は？ヒト？モノ？テクノロジー？
社会・組織？なぜその困りごと・課題感を感じてしまうのだろうか？

③

困りごと・課題感を
生み出している壁は？
ヒト？モノ？テクノロジー？
社会・組織？何故その困りごと・
課題感を感じてしまうの
だろうか？

解決した後の姿

困りごと・課題感がナナメの解決によって解決された結果
どうなるのだろうか？

②

こどもたちが
「自ら学び 社会とつながり
ともに未来を創る人」に
なっている

既存の取り組み

④

既にやっていること
できていることもある。

それはどんなこと？

自分の専門性

「自分」のどんな強みを活かすことで困りごと・課題感の解決につながるだろうか？

⑤

「自分」のどんな強みを
活かすことで困りごと・
課題感の解決に
つながるだろうか？

第3者の専門性

誰のどんなスキルとコラボをすれば困りごと・課題感を解決できるだろうか？

⑥

誰のどんなスキルとコラボを
すれば困りごと・課題感を
解決できるだろうか？

ナナメの解決策

具体的な困りごと・課題感を解決するために必要なアクションは何だろうか？
アクションを起こすことで従来の福祉を超えることができるだろうか？

⑦

具体的な困りごと・課題感を解決するために
必要なアクションは何だろうか？
アクションを起こすことで
「解決した後の姿」は実現できるだろうか？

ここは必ず「自分・自分たち」を主語に。

現状・課題

ハードル

困りごと・課題感を生み出している壁は？ヒト？モノ？テクノロジー？
社会・組織？なぜその困りごと・課題感を感じてしまうのだろうか？

解決した後の姿

困りごと・課題感がナナメの解決によって解決された結果
どうなるのだろうか？

②

こどもたちが
「自ら学び 社会とつながり
ともに未来を創る人」に
なっている

既存の取り組み

自分の専門性

「自分」のどんな強みを活かすことで困りごと・課題感の
解決につながるだろうか？

⑤ 「自分」のどんな強みを
活かすことで困りごと・
課題感の解決に
つながるだろうか？

第三者の専門性

誰のどんなスキルとコラボをすれば困りごと・課題感を
解決できるだろうか？

ナナメの解決策

具体的な困りごと・課題感を解決するために必要なアクションは何だろうか？
アクションを起こすことで従来の福祉を超えることができるだろうか？

自分の専門性、強み

目標に対して、自分の専門性だけではできないことがある。

- そこへの気づきから、連携の必然性が出てくる
- 連携したい相手が見えてくる



自分の専門性、強みとは

- 「できる、できない」の価値軸だけではない。
- その人の【当事者性】
 - 例) (幼少期に) どんな経験をして、どんな感じ方をしているか
 - 例) 父親であること、兄弟に障害があること、親の介護をしていること
 - 例) どんな方との出会いがあったか

こうしたこともその人の強み、専門性。

例) 小さいころにたくさんの大人に囲まれて育った▶子どもたちに自分のように素敵な大人に出会ってほしい▶こどもに関わる仕事

協働において大事なポイント

- ・ 「目標」に賛同する参加者が、関わる中で安心し、楽しいと感じ、元気になること。
 - ・ そのためには、個人の意志や想いが起点にあること
 - ・ 価値創造は、その意志や想いを持つ個人が、周囲を巻き込むことから始まるということ
- ＝つながるということは、まず、自分自身とつながること。

協働において大事なポイント

教職員の皆さん自身が自分とつながって語れているか。
こどもたちはどうか。

- ・ 内容（何をするか）の前に、個人の意志や思いへの伴走が必要。

Leading from one step behind

(一步後ろから導く)

ドア空けますね



段差に気をつけて

ガウンを着て杖をついて歩く人が

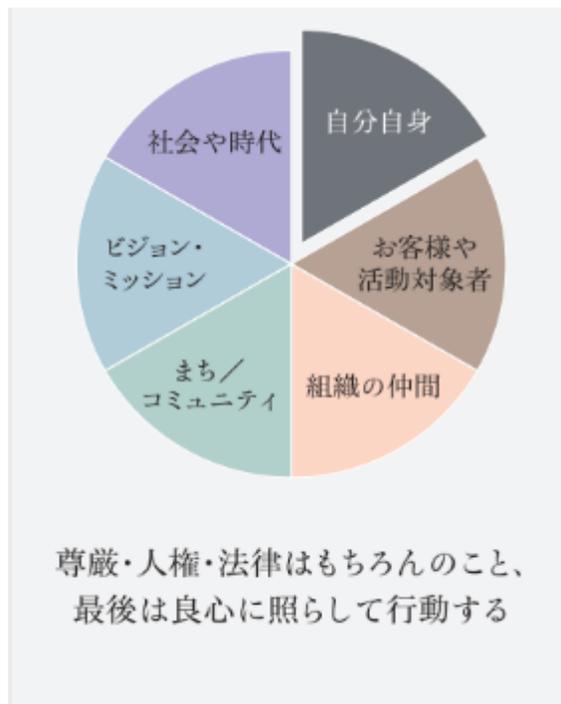
自分の意志で歩くことを

ポロシャツを着た人が

(迷わないように・転ばないように)

一步後ろについて支援している

こまちぷらすの「クレド」



自分自身

私の原点、私の琴線、私の専門性

自分の原点、「楽しい」、共感、安心、ありたい姿を大事にしよう。

自分の視野は5度

自分の見えている視野はたったの5度。他の人から見えている5度も意識しよう。

お客様や活動対象者

ラベルで人を見ず、人の6面を見る

人は自分が今見ている1面のほか、5面くらいあることを忘れないようにしよう。

良くしようとするのはやめたほうがよい

自分が「良い」と思っていることだけを基準に相手の状況を変えようとしなさい。

組織の仲間

豊かにゆらぐ

「正しさ」も本当にそうなのかと、つながりのなかで豊かにゆらいでみよう。

「のりしろ」と「関わりしろ」のあるチームに

嬉しいエピソードを仲間と共有しよう。人が関われる余白を仕事の中につくろう。

まち/コミュニティ

遠くに行きたければみんなで行く

自分たちだけでやろうとしなさい。時間がかかってもみんなで行けば遠くにいける。

関わる人が幸せに、まちも豊かに

関わる人、一人一人が嬉しく、まちも結果豊かになる循環をつくろう。

ビジョン・ミッション

子育てが「まちの力」で豊かになる社会につながる

迷ったらまず、ビジョン・ミッションに立ち返ろう。

事業を支える人・つながり、お金が続く仕組みがある

組織的に、経済的に、持続可能な仕組みになっているか立ち止まって考えよう。

社会や時代

声なき声を聴き、翻訳しよう

埋もれたニーズを一人一人の声やデータから拾って伝わるよう翻訳していこう。

やってみなくちゃ、わからない

未来は誰もわからない。あれこれ考えてもわからないときは、まず小さく動こう。

尊厳・人権・法律はもちろんのこと、最後は良心に照らして行動する